

平成29年 6月 7日

ペットボトルリサイクルの在り方検討会 殿

ペットボトル再商品化事業者

ペットボトル再商品化製品利用事業者

「検討会審議内容への意見書」

拝 啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、現在開催されています、ペットボトルリサイクルの今後のあり方検討会につきまして、公開資料や傍聴により情報を頂いておりますが、ペットボトルリサイクルを一つの産業と捉え、更に発展させるべく協議が行なわれていることに、我々も大いに賛同するところでございます。

2回目検討会では、主務省庁より具体的な制度の提案もあり、議論が重ねられているかと存じますが、検討会の中でも様々な意見があったように、現状分析の偏重と結論を急ぎ過ぎることにより、変更内容の良否判別がはっきりなされないまま、拙速な結論に至ってしまうのではないかという深い心配があることも事実です。

ペットボトルリサイクルの仕組みは、再生資源の中でも取り分け効率の良いリサイクルが確立され、公平で透明性の高い環境が整った仕組みとなり、資源循環の模範となっております。その反面、取り巻く環境の変化により、現制度では合理的に説明が付きにくい部分が出てきたことも確かです。見直しをする時期であることは十分承知しておりますが、どうか、ペットボトルのリサイクルに関わる川上から川下までの幅広い産業に公平で、多くの排出者である市民からのパブリックコメント等を取り入れた制度であってほしいと願うばかりです。

そのため性急に結論を求めることなく議論を深め、精緻な分析と多くの意見、論点からより良い結論を導き出させていただきたく、最低でも来年の入札において現在の入札方式を大きく変えることをされないように願いたいと考えるしだいでありますので宜しくお願い申し上げます。

最後になりますが、私共も微力ながら日本のペットボトルリサイクルを更に発展させるべく精進して参る所存でございます。何卒よろしくお願い申し上げます。

敬 具

再商品化事業者・再商品化利用事業者 賛同者

再商品化事業者（36社）

北海道ペットボトルリサイクル株式会社
株式会社青南商事
協業組合 名取環境事業公社
株式会社タッグ
ダイワテクノ工業株式会社
リサイクル東北株式会社
環境開発事業協同組合
株式会社ジー・エス・ピー
オール・ウェイスト・リサイクル株式会社
小山化学株式会社
有限会社太盛
株式会社大誠樹脂
株式会社エコマテリアル
リソースガイア株式会社
有限会社石井運輸
社会福祉法人共働学舎
ペトリファインテクノロジー株式会社
株式会社魚津清掃公社
株式会社北陸リサイクルセンター
株式会社セキ
大島産業株式会社
株式会社アース・グリーン・マネジメント
鈴与エコプロダクツ株式会社
UR 中部株式会社
株式会社シーピーアール
株式会社トーシン
小島産業株式会社
ウツミリサイクルシステムズ株式会社
株式会社松田商店
株式会社正和クリーン
株式会社イワフチ
有限会社筒井商店
株式会社熊本市リサイクル事業センター
有価物回収協業組合石坂グループ
わくワーク水俣
株式会社井上商店

再商品化利用事業者（16社）※再商品化事業者

RP 東プラ株式会社

株式会社アース・グリーン・マネジメント※（連絡窓口：繊維）

ウツミリサイクルシステムズ株式会社※

小山化学株式会社※

大塚高分子工業株式会社

大島産業株式会社※

笠井産業株式会社

株式会社栗原製作所（連絡窓口：シート）

小島産業株式会社※（連絡窓口：繊維）

有限会社 G テック

進栄化成株式会社

高安株式会社

株式会社トーシン※

根来産業株式会社

ミネロン化成株式会社

株式会社ヨシザワ

この件に関するお問合せ

株式会社栗原製作所 異 行弘（TEL0743-56-2207）

